

全農薬通報

No. 329

令和3年6月30日

目 次

◎主な行事予定

- ・全国農薬協同組合
- ・植物防疫関係団体

◎組合からのお知らせ

- ・植物防疫関係団体の総会等
- ・2021年度農薬危害防止に関する講演会報告

◎行政からのお知らせ

- ・「みどりの食料システム戦略」の策定
- ・「農林水産研究イノベーション戦略2021」の策定

◎全農薬ひろば

- ・ハンゲショウ



全国農薬協同組合

〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-3-4 全農薬ビル

TEL : 03-3254-4171

FAX : 03-3256-0980

<https://www.znouyaku.or.jp>

E-mail : info@znouyaku.or.jp

全農薬の主な行事予定

「全国農薬協同組合」

令和3年(2021年)

6月～9月 農薬シンポジウム(山形県、大分県) **中止**

8月26日(木) 第48回安全協常任幹事会(Web会議を予定)

9月16日(木) 執行部協議会

各委員会

第300回理事会

10月上旬 植物防疫研修会

10月下旬 第8回農薬安全コンサルタントリーダー研修会

10月22日(金) 監査会(理事長、副理事長、監事)

11月16日(火) 第301回理事会

11月17日(水) 第56回通常総会・第43回安全協全国集会

12月 8日(水) 執行部協議会

第302回理事会

12月 9日(木) 全農薬受発注システム利用メーカー協議会総会
(理事長、IT・広報委員長)

「植防関係団体」

農薬工業会

11月11日(木) 虫供養

報農会

9月29日(水) シンポジウム
(オンライン開催を予定)



木槿(ムクゲ)

撮影場所：藤沢市

ムクゲの花言葉：「信念」「新しい美」

組合からのお知らせ

1. 農薬工業会

開催日時：令和3年5月19日（水）第90回通常総会と講演会

開催場所：鉄鋼会館（日本橋茅場町・Web 併用）

(1) 総会

総会では、2020年度事業報告、収支決算並びに2021年度事業計画、予算案等を承認するとともに、新年度の役員（理事・監事）を選任した。その後、新理事から、会長、副会長及び専務理事を選任した。会長、副会長、専務理事及び役員会社は次のとおり。

(2) 新年度役員

新会長には、本田 卓氏（日産化学(株)取締役専務執行役員）が新たに就任した。副会長には、的場 稔氏（シンジェンタジャパン(株)代表取締役社長）、溝口正士氏（日本曹達(株)執行役員）、藤本博明氏（住友化学(株)執行役員）が就任し、専務理事には松浦克浩氏が就任した。各委員会については、運営委員長に小松英司氏（日産化学(株)）、技術委員長に吉田浩之氏



左から

藤本博明 副会長、溝口正士 副会長、本田 卓 会長、
的場 稔 副会長、 松浦克浩 専務理事

（シンジェンタジャパン(株)）、広報委員長に鈴木欣也氏（住友化学(株)）、安全対策委員長に乾 公正氏（石原産業(株)）、国際委員長に佐藤祐二氏（日産化学(株)）が就任した。新型コロナウイルスの全国的な感染拡大から、令和3年度の地区会議はリモート研修の実施へと形を変えて実施した。

(3) 講演会

公益財団補法人食の安全安心財団理事長の唐木英明氏が「農薬のリスクコミュニケーションー風評の発生と対策ー」と題して講演した。

2. (一社) 日本植物防疫協会

開催日時：6月11日(金) 第10回 総会

開催場所：ホテルラングウッド(荒川区東日暮里・Web 併用)

出席者：大森 茂 理事長



総会次第

1. 開会
2. 早川理事長挨拶
3. 議長選出及び議事録署名人選任
4. 議事

定款の規定に基づき、早川理事長が議長となり、富田専務理事、曾根常務理事及び高木常務理事から提出議案の説明が行われた。

(1) 第1号議案 2020年度事業報告及び収支決算に関する件

事業報告について、実施事業、試験研究事業、支援事業及び不動産賃貸事業等への取り組みの報告及び2021年度事業計画のポイント並びに収支決算についての説明が行われた後、岡田監事から監査報告がなされ、当議案は原案どおり異議なく承認された。

(2) 第2号議案 役員改選に関する件

役員人事については、小池理事の退任に伴い、後任の理事として本田 卓氏が新たに理事に就任した。任期は2022年6月の総会まで。

新たに理事に就任した方は次のとおり。(敬称略)

本田 卓 (ほんだ たかし) 1959年生まれ

2021年4月 日産化学株式会社 取締役 専務執行役員 農業化学品事業部長

2021年5月 農薬工業会会長

(3) 第3号議案 役員報酬に関する件

原案どおり異議なく承認された。

(4) 第4号議案 会費に関する件

前年同との説明後、原案どおり異議なく承認された。

3. (公社) 緑の安全推進協会

開催日時：5月26日(水) 理事会

6月16日(水) 第31回 通常総会

開催場所：TKP 神田駅前ビジネスセンター(千代田区鍛冶町)

出席者：大森 茂 理事長(理事会)

総会次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事録署名人選出
5. 議事の目的事項



議長：根岸会長



緑の安全推進協会総会の様子

(1) 決議事項

第1号議案 2020年度事業方向及び収支決算承認の件

理事会・総会等会議の開催状況、監査の実施と適正報告の受領、委員会・専門部会等の開催状況が報告された。引き続き会員の動静について、正会員に(株)栗原弁天堂の入会、退会2会員となり昨年度末で145会員となった。「緑の安全管理士」について、新たな認定などについて承認された。

第2号議案 理事12名の選任の件

以下12名の理事が選任された。

足立純一(シンジェンタジャパン株式会社プロフェッショナルリレーション営業本部長)

梅田公利（住友化学園芸株式会社 代表取締役社長）
江口禎之（日本曹達株式会社 本社農薬化学品事業本部フェロー）新任
大森 茂（全国農薬協同組合理事長）
小林由幸（株式会社ロイヤルグリーンメインテナンス 代表取締役社長）
齊藤一雄（住友化学株式会社 健康農業関連事業業務室担当部長）新任
篠原卓朗（株式会社理研グリーン 代表取締役社長）
高橋史郎（日本農薬株式会社上席執行役員(株)ニチノー緑化代表取締役社長）
本田 卓（日産化学工業株式会社 取締役専務執行役員農業化学品事業部長）新任
山田正和（全国農業協同組合連合会 本所耕種資材部次長）
根岸寛光（公社・緑の安全推進協会会長 東京農業大学非常勤講師）
白岩 豊（公社・緑の安全推進協会会長 日本農薬株式会社より出向）新任
第3号議案 監事2名の選任の件
以下の2名が選出された。
鈴木望文（小西安農業資材株式会社 取締役営業本部長）
松浦克浩（農薬工業会専務理事）

4. （一社）農林水産航空協会

開催日時：5月24日（月）理事会 書面開催
6月16日（水）第119回 総会
開催場所：都道府県会館（千代田区平河町）
出席者：鈴木 敦 参事

開会

- 1.会長挨拶
- 2.農林水産省挨拶
- 3.議長選出
- 4.議事録署名人の指名
- 5.議案審議

第1号議案 令和2年度事業報告(兼事業報告の明細書)に関する件

- ・会員数
- ・理事会-総会関係
- ・令和2年度事業報告

農林水産業における航空機等(有人ヘリコプター及び産業用無人航空機(無人ヘリコプター及びマルチローター式小型無人機(以下、「マルチローター」という))の利用(薬剤、肥料、種子の散布等に利用する事業)の安全かつ効率的な推進を図ることにより、

農林水産業の安定生産、生産性の向上を図り、もってわが国の食料自給率の向上、国民の食の安全、生活・自然環境の保全に寄与することを目的とし次の事業を実施した（内容省略）。



農林水産航空協会総会の様子

第2号議案 令和2年度財務諸表承認に関する件

- ・ 正味財産増減計算書
- ・ 貸借対照表
- ・ 財産目録
- ・ 監査報告

第3号議案 令和3年度会費の分担及び徴収方法に関する件

第4号議案 令和3年度役員報酬の総額に関する件

第5号議案 役員の改選に関する件

- ・ 理事

生部 誠治（全国農業協同組合中央会）、宇田川雅之（東邦航空株式会社）、尾暮 敏範（朝日航洋株式会社）、長田 眞陽（ヤンマーヘリ&アグリ株式会社）、倉石 晃（ヤマハ発動機株式会社）新任、齋藤 武司（農林水産航空協会）顧問、五月女 淳（農林水産航空協会）常務理事、高橋 宏和（日本植物調節剤研究協会）、徳井 和久（全国農業共済協会）、中島 満（農林水産航空協会）、中村 雅人（北陸スカイテック株式会社）、西 修平（鹿児島国際航空株式会社）、福盛田 共義（農林水産航空協会）会長、藤本 博明（農薬工業会）新任、二神 一（中日本航空株式会社）新任、山田 正和（全国農業協同組合連合会）、柚木 茂夫（全国農業会議所）

- ・ 監事

鈴木 敦（全国農薬協同組合）、高橋 正幸（公認会計士）

以上のとおり承認された。

閉会

5. (一財) 残留農薬研究所

開催日時：5月25日(火) 理事会

6月15日(火) 第10回 評議員会

開催場所：霞が関法曹会館(千代田区霞が関)

出席者：大森 茂 理事長

評議員会次第

1. 理事長挨拶
2. 来賓挨拶
3. 議長選任
4. 議事録署名人の選任
5. 報告

(1) 2020年度事業報告

事業の経過及びその成果(一部)

当研究所は、農薬等の残留及び毒性

に関する各種試験及び調査研究等を行うことにより、その安全性の確保を図り、もって人の健康の保護及び環境の保全に寄与することを目的として、農薬等の残留性及び毒性に関する①各種試験の受託実施、②国関係委託事業等、③調査研究、④技術及び知識の普及並びに⑤試験及び試験成績についてのコンサルテーションを行っている。さらに、⑥その他研究所の目的を達成するために必要な事業を行うこととしている。

(2) 2020年度公益目的支出計画実施報告

6. 審議

第1号議案 2020年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認に関する件

7. その他



残研評議員会の様子(議長：大森理事長)

6. (公財) 日本植物調節剤研究協会

開催日時：5月28日(金) 第10回 評議員会(リモート会議)

報告事項

2020年度事業報告

決議事項

1. 2020年度決算の承認
2. 理事・監事の選任
理事・監事の交代なし
3. 評議員の選任

新任評議員：井ノ下順二郎、加藤良晃、藤本博明、渡辺賢

退任評議員：大嶋明久、郡嶋浩志、齊藤一雄、矢野博久

7. (公財) 報農会 定時評議員会議

開催日時：5月11日(火) 理事会(オンライン会議)

6月8日(火) 定時評議員会議(オンライン会議)

参加：大森 茂 理事長

総会次第

1. 開会
2. 理事長挨拶
3. 議長及び議事録署名人の選出
4. 議事

第1号議案 令和2年度事業報告に関する件

- ・事務報告
- ・事業報告

第2号議案 令和2年度収支決算報告に関する件

- ・貸借対照表
- ・正味財産増減計算書
- ・財産目録
- ・監査報告書

第3号議案 評議員の選任に関する件

- ・阪本 剛 評議員(元農薬工業会専務理事)より辞任届受理、後任として
松浦 克浩 氏(農薬工業会専務理事)を推薦

第4号議案 理事の選任に関する件

- ・理事
小畠 恒夫(報農会事務局長)*新任
田村 貞洋(東京大学名誉教授・報農会理事長)
中村 幸二(元日本植物防疫協会技術顧問)
藤田 肖子(元報農会常務理事)
堀江 博道(法政大学植物医科学センター副センター長)

5. 報告事項

- (1) 育英費受給申請の受付状況
- (2) 就農希望者への奨学金受給申請の受付状況
- (3) 植物防疫に関する学術・技術の交流援助申請受付状況
- (4) 植物防疫の発展に寄与した功績者の表彰(第36回)
- (5) 植物防疫に関する公開シンポジウム(第36回)の開催

8. 2021 年度農薬危害防止に関する講演会 報告

～最近の現場からの照会事例と今後取り組むべき新たな課題～

ハイブリッド方式(Web 開催および現地開催)

主催：農薬工業会安全対策委員会

開催日時：2021 年 6 月 18 日(金) 13:30～17:00

開催場所：日本教育会館 707 号室（千代田区一ツ橋）

1. 開会挨拶 農薬工業会 専務理事 松浦 克浩
2. 『農薬の危害防止について』
農林水産省農産安全管理課農薬対策室 課長補佐 濱砂 信之
3. 『最近の中毒照会事例と相談現場から見える課題』
(公財)日本中毒情報センターつくば中毒 110 番 課長 竹内 明子
4. 『最近の電話相談事例と相談現場から見える課題』
(公社)緑の安全推進協会 電話相談室長 山崎 道晴
5. 『JA グループにおける農薬安全使用に関する取り組み』
全国農業協同組合連合会耕種資材部技術対策課 青山 良一
6. 『全農薬・安全協における取り組みと今後の課題』
全国農薬協同組合 技術顧問 植草 秀敏
7. 質疑応答・アンケート記入
8. 閉会挨拶

9. 農薬用保護マスク研究会総会

開催日時：6 月 23 日（水） ハイブリッド会議（1 名 Web 参加）

開催場所：A P 秋葉原 4 階 H 会議室（台東区秋葉原 1-1 秋葉原ビジネスセンター）

出席者：植草 秀敏 技術顧問

総会次第

1. 挨拶
2. 議事
 - (1) 令和 2 年度事業報告
 - ・令和 2 年度農薬用保護マスク研究会会合
 - ・関係資料の印刷及び配布
 - ・都道府県等が開催する「農薬安全使用講習会」への講師派遣事業
 - ・マスク講習会の概要
 - ・農薬の種類と対応マスク検索用エクセルファイル
 - ・農薬用マスクの識別表示（シンボルマーク）の活用

- ・クロルピクリン土壌くん蒸安全対策事業の活用
- ・農薬使用者の安全に係る防護装備の見直し対応
- (2) 決算報告及び会計監査報告
 - ・収支計算書、収支決算明細、会計監査報告
- (3) 令和3年度事業計画
 - ・「農薬散布用に使用するマスクの手引き」とチラシの活用
 - ・インターネットでの公開
 - ・普及啓発活動の実施
 - ・マスク専門家派遣事業の実施
 - ・農薬の種類と対応マスクの検索ファイルの及び公開
 - ・農薬用マスクの識別表示（シンボルマーク）の活用
 - ・クロルピクリン土壌くん蒸安全対策事業の活用
 - ・マスク研究会の体制の検討
- (4) 令和3年度予算
- (5) その他
 - ・マスク研究会の今後の方向について

3. 報告事項

- (1) 令和2年度講習会派遣実績
- (2) 農薬の種類と対応マスクの検索
- (3) 識別マークのある市販のマスク一覧

4. 来賓ご挨拶



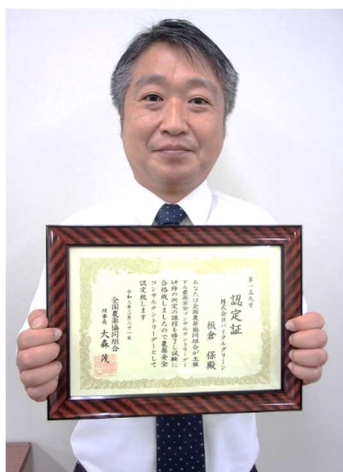
総会の様子（机の配置はコの字、パノラマで全体を撮影）

10. 農薬安全コンサルタントリーダー資格取得者の紹介

令和3年度の各地区会議は新型コロナウイルスの全国的な感染拡大防止のため、人を集めての開催は中止となりました。例年、農薬安全コンサルタントリーダー資格取得のためのポイントの一部は各地区会議における研修会受講により付与されていましたが、今年度は全農薬ホームページに設置しました安全協ポータルサイトを用いたリモート研修を視聴してアンケートに答えることでポイント付与を行う形式にて実施しました。

アンケートを集計してコンサルタントリーダーを目指す方々へポイントを付与したところ、今回は2名の方が資格取得ポイントに達しました。

例年、農薬安全コンサルタントリーダー資格取得者は各地区会議にて認定書をお渡しして皆さんへご紹介することになっておりますが、今年は本通報にて皆様にご紹介させていただきます。



- ・氏 名：板倉 保
- ・勤務先：株式会社バイタルグリーン
長岡営業所
- ・一言

「みどりの食料システム戦略」で、今後の農業・農薬を取り巻く環境が大きく変化致します。農業生産の安定・作業の省力化・農薬の適正使用の普及に努めて行きたいと思います。



- ・氏 名：成田 陽平
- ・勤務先：株式会社ナビック
- ・一言

今後も作物の病害虫・雑草防除の知識の向上と技術向上に努め、より質の高い知識、技術を提供し、産地育成に貢献できるよう活動していきます。

関係団体からのお知らせ

1. 第36回報農会シンポジウム

『植物保護ハイビジョンー 2021』のご案内(案)

～明日の植物防疫の可能性を探る＜新たな試みの貢献に期待＞～

主催：公益財団法人報農会

協賛：一般社団法人日本応用動物昆虫学会、一般社団法人日本植物病理学会、
日本農薬学会、一般社団法人日本雑草学会

日時：令和3年9月29日(水) 10:00～15:30 (オンラインによるライブ配信)

＜プログラム＞

講演

- ・植物防疫の現状と課題について 農林水産省植物防疫課 二階堂孝彦
- ・埼玉県の鳥獣害の実態と対策について 野生生物研究所リサーチ・ステーション 古谷益朗
- ・AIを活用した病害虫の画像診断(仮題) 法政大学理工学部 彌富仁
- ・温暖化に対応した山形県庄内地域におけるカンキョ適応性試験の取組み
山形県庄内総合支庁農業技術普及課 安孫子裕樹
- ・雑草を活かして雑草を防ぐ有機稲作 館野かえる農場館野廣幸

参加費：4,000 円(講演要旨集のみ購入 3,000 円)

申込み：報農会ホームページに掲載しております『開催要領』をご覧の上,申込用紙に必要事項を記入して,メール又はFAXでお申し込みください。

尚、シンポジウム終了後、同じ場所において報農会主催の第36回功績者表彰式をオンラインで行いますので、よろしければご参加ください。

連絡先：公益財団法人報農会事務局

〒187-0003 東京都小平市花小金井南町 1-12-11 BLOSSOM みさと

TEL/FAX：042-452-7773

Email：khon0511@car.ocn.ne.jp

URL：<http://www.honokai.org/>

全農薬事務局の人事

6月 3日付 採用 近藤 洋子

6月30日付 退職 佐藤 博子

1. みどりの食料システム戦略の策定

令和 3 年 5 月 12 日

農林水産省

農林水産省は、令和 3 年 5 月 12 日、「みどりの食料システム戦略～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～」を策定しました。

「みどりの食料システム戦略」では、2050 年までに目指す姿として、

1. 農林水産業の CO2 ゼロエミッション化の実現
2. 化学農薬の使用量をリスク換算で 50%低減
3. 化学肥料の使用量を 30%低減
4. 耕地面積に占める有機農業の取組面積を 25%、100 万 ha に拡大
5. 2030 年までに持続可能性に配慮した輸入原材料調達の実現
6. エリートツリー等を林業用苗木の 9 割以上に拡大
7. ニホンウナギ、クロマグロ等の養殖において人工種苗比率 100%を実現 等の目標を掲げました。

これらの目標の実現に向けて、調達から生産、加工・流通、消費における関係者の意欲的な取組を引き出すとともに、革新的な技術・生産体系の開発と社会実装に取り組んでいくこととしています。

詳細は以下より

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kankyo/210512.html>

みどりの食料システム戦略トップページ：

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>

2. 無人航空機による農薬散布等に関する情報

令和3年5月20日

農林水産省

(1) 無人航空機による農薬等の空中散布に関する Q&A

農林水産省植物防疫課は、使用者向けの「無人航空機による農薬等の空中散布に関する Q&A」を取りまとめ、ホームページに掲載しました。

無人航空機による農薬等の空中散布に関する Q&A：

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/attach/pdf/120507_heri_mujin-138.pdf

参考）令和3年度の無人航空機による農薬の空中散布における安全対策について：

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/g_kouku_zigyo/mizin_tuuti/attach/pdf/20210326_mujinkoukuuki_anzentaisaku.pdf

3-1. 食品、添加物等の規格基準の一部を改正

令和3年5月27日

厚生労働省

厚生労働省は、食品衛生法第13条第1項の規定に基づき、食品中の残留基準値を設定又は変更し、令和3年5月27日付けで告示を行った。該当する農薬は次のとおり。

殺菌剤 エタボキサム、フェンブコナゾール

殺線虫剤 チオキサザフェン

詳細は次の URL より：

<https://www.mhlw.go.jp/content/000785180.pdf>

3-2. 食品、添加物等の規格基準の一部を改正

令和3年6月25日
厚生労働省

食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件（令和3年厚生労働省告示第255号）により、下記の申請に係る農薬の残留基準値が設定又は変更されました。

殺虫剤 シフルメトフェン

殺菌剤 チアジニル

除草剤 チエンカルバゾンメチル

詳細は次の URL より：

<https://www.mhlw.go.jp/content/000797677.pdf>

4. 「農林水産研究イノベーション戦略 2021」の策定

令和3年6月11日
農林水産省

農林水産省は「農林水産研究イノベーション戦略 2021」を策定しプレスリリースしました。

農林水産分野においても科学技術の力の活用により、イノベーションを創出し、我が国の豊かな食と環境を守り発展させることが必要であることから、日進月歩する科学技術の進展等を踏まえ、食料・農業・農村基本計画に基づき毎年度策定することとしています。

今般の戦略では、重点分野として、「スマート農林水産業」、「環境」、「バイオ」の3分野の今後の研究開発の方向性を示し、産学官と現場が一体となった研究開発環境の整備の強化の方向性を示しました。なお、本年5月に策定した「みどりの食料システム戦略」の実現にも貢献するものとしています。

詳細は次の URL より：

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/210611_24.html

ハンゲショウ（半夏生、学名：*Saururus chinensis*）ドクダミ科ハンゲショウ属

日本、朝鮮半島、中国、フィリピンなど東アジアの日の当たる湿地に太い地下茎で分布を広げて群生します。国内では、生育に適した土地が減少していることから自生株は近年減少傾向にあり、地域によっては絶滅が懸念されています。山形県、福島県、東京都では絶滅危惧Ⅰ類、青森県、秋田県、宮城県、新潟県、富山県、埼玉県では絶滅危惧Ⅱ類、その他14府県で準絶滅危惧種に指定されています。



地上部は、高さ50～100cmほどに成長し、葉は互生、長さ5～15cmほど、卵形で、基部がハート形の細長い形状です。夏至を過ぎた頃に長さ10～15cmほどの穂状花序を葉脇につけます。また、花のすぐ下に位置する葉の表面が白く変化し花弁の役目を果たすのが本種の特徴で、開花期にはドクダミに似た独特の匂いを発します。

名前の由来は、半夏生[＊]の頃に花を咲かせることに由来する説と、葉の一部を残して白く変化する様子から「半化粧」とする説があります。また、葉の片面（表面）だけが白くなることから古くはカタシログサ（片白草）とも呼ばれています。



＊）**半夏生**：雑節の1つで七十二候の1つ、かつては夏至から数えて11日目としていたが、現在では天球上の黄経100度の点を太陽が通過する日となっている。毎年7月2日頃にあたる。この頃に降る雨を「半夏雨」（はんげあめ）と言い、大雨になることが多い。農家にとっては大事な節目の日で、この日までに「畑仕事を終える」「水稻の田植えを終える」目安で、この日から5日間は休みとする地方もある。この日は天から毒気が降ると言われ、井戸に蓋をして毒気を防いだり、この日に採った野菜は食べてはいけないとされたりした。

（一部レッドデータ検索システム、Wikipedia 等より引用）

撮影場所：藤沢市片瀬山

花言葉：「内に秘めた情熱」「内気」

